

予算決算常任委員会議事日程

平成30年6月12日（火）午前10時00分開会

議事日程

- 第 1 補正予算議案の詳細説明
- 第 2 補正予算議案の全体質疑
- 第 3 補正予算議案の審査報告書について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（17名）

委員長	山崎道夫	委員			
	赤丸秀雄	委員		水本淳一	委員
	廣田清実	委員		高橋安子	委員
	齊藤正範	委員		村松信一	委員
	昆秀一	委員		藤原梅昭	委員
	川村農夫	委員		高橋七郎	委員
	長谷川和男	委員		川村よし子	委員
	小川文子	委員		藤原由巳	委員
	藤原義一	委員		米倉清志	委員

欠席委員（なし）

矢巾町議会委員会条例第19条の規定により出席した説明員は次のとおりである。

町長	高橋昌造	君	副町長	水本良則	君
総務課長	山本良司	君	企画財政課長	藤原道明	君
会計管理者兼 税務課長	佐藤健一	君	住民課長	浅沼	仁君

福祉・ 子ども課長	菊池由紀君	健康長寿課長	村松徹君
産業振興課長	菅原弘範君	道路都市課長	村松亮君
農業委員会 事務局長	佐々木忠道君	上下水道課長	山本勝美君
教育長	和田修君	学務課長	村松康志君
社会教育課長	野中伸悦君	学校給食共同 調理場所長	稲垣譲治君
代表監査委員	吉田功君	農業委員会会長	米倉孝一君

職務のために出席した職員

議会事務局長	吉田孝君	係長	藤原和久君
主査	佐々木睦子君		

午前10時00分 開会

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 会議に先立ち委員の皆さんにお諮りいたします。

本委員会の傍聴希望者には、委員会条例第17条第1項の規定により傍聴の許可をしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議がないようでありますので、許可することに決定いたします。

ただいまの出席委員は17名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

ただいまから本日の予算決算常任委員会を開会いたします。

直ちに予算決算常任委員会の会議に入ります。

議事日程の報告

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

これより本日の日程に入ります。

日程第1 補正予算議案の詳細説明

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 日程第1、補正予算議案の詳細説明を行います。

本日は、付託を受けました議案第62号 平成30年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）について詳細説明を受けたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） また、補正予算案の詳細説明に当たっては、経常的な部分及び節等については極力省略をし、特徴のある部分について重点的に説明を願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議がないようでありますので、そのように進めさせていただきます。

それでは、議案第62号 平成30年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細説明を求め

ます。

藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） 議案第62号 平成30年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細について説明をさせていただきます。

4ページをお開き願います。第2表、債務負担行為補正となります。追加となります。事項といたしましてバルクリース方式による省CO₂改修事業。期間、平成30年度から平成40年度まで、11年間となります。限度額3億4,767万円。こちらにつきましては、本年度から行います省CO₂改修事業をリース方式で対応するということとなりますので、本年度実際作業に当たる前に、この債務負担が追加として成立していることが必要となりますので、今回の補正予算に計上させていただいたものでございます。

続きまして、次のページです。第3表、地方債補正。変更となりますが、限度額のみの変更補正でございます。起債の目的、道路整備事業。補正前限度額4億820万円。これが補正後限度額5億2,510万円とするものでございます。後ほど説明いたしますが、社会資本整備総合交付金の国の交付決定によりまして金額の変更の必要が発生しましたので、それに伴うものとなっております。

次に、事項別明細によりまして説明いたします。13ページをお開き願います。説明につきましては、特記事項のみとさせていただきます。歳入、13款国庫支出金、2項国庫補助金でございます。社会資本整備総合交付金、国の交付決定によりまして、それに合わせる形での増額の補正となります。

なお、内容によって減額、増額、組み合わせになっておりまして、トータルとしては増額になったものでございます。

14款県支出金、2項県補助金、こちらは新規です。部活動指導員配置事業補助金としまして、国、県、町がおのおの3分の1ずつ負担するという内容のものでございます。いわゆる働き方改革に伴うものでございます。

続きまして、3項委託金、こちらも新規です。人権教育研究事業委託金として矢巾中学校が指定校となりまして、研修会等の経費についての委託金でございます。

続きまして、16款寄附金、1項寄附金、ふるさと納税の増額ということで計上したものでございます。8億円でございます。

それから、19款諸収入、4項雑入です。こちらみんな全て新規となります。車両損害共済金、現時点での見込みでの76万7,000円を計上いたしましたし、スポーツ振興くじ調整金、こ

れは t o t o でございますが、こちらによりまして体育館にありますトレーニング機器の更新を、これを財源に行うということでございます。199万9,000円。それから、総合賠償補償金としまして、さわやかハウス車庫の上にあります太陽光パネルの交換修理が保険金があるということで25万9,000円を計上しているものでございます。

ページをめくっていただきまして、20款町債、1項町債、先ほどもお話ししましたが、社会資本整備総合交付金の増減、トータルでは増になっておりますが、の関係に伴う裏負担になります部分の起債の増となったものでございます。

続きまして、歳出に参ります。17ページをお開き願います。金額の大きいところ及び特記事項について説明いたします。歳出2款総務費、1項総務管理費、この中で6目企画費でございます。こちらはふるさと納税関連で増額補正となっております。具体的には企画総務事業の中の消耗品費、ふるさと納税の返礼品に係るものが主なものでございます。その次のふるさと納税運営業務委託料、こちらも返礼品に係るものの15%ということで8,100万円を計上しております。

それから、住居表示整備事業委託金、こちらは増額でございますが、先般よりお話ししておりますが、駅前地区の土地区画整理事業の換地処分に合わせて住居表示を実施するために必要な経費ということで業務委託料966万6,000円を計上しております。

なお、そのその次のまちづくり事業のところでございますが、土地鑑定評価業務委託料として計上しております。こちらは対象地は、室岡のゆうゆう広場でございます。今後いろいろな土地利用を考えていく際に、土地鑑定評価での価格を把握しておくことが必要と考えましたので、こちらを計上させていただきました。次の8目財政調整基金でございますが、今回の補正予算の増減を調整しまして最終的に1億2,528万5,000円を積み立てることが可能だということで計上しております。

なお、こちらの積み立てによりまして基金残高は9億8,207万円となる見込みでございます。

次のページに参りまして、3款民生費、1項社会福祉費、こちらが先ほど来お話ししておりますが、さわやかハウス車庫上の太陽光パネルの交換に係る修繕料26万円でございます。次の2項児童福祉費でございますが、こちら新規でございます。子育て支援員研修業務委託料として計上しておりますが、家庭的保育事業、それから小規模保育事業の従事者の人材育成研修の経費でございます。

続きまして、次のページの7款商工費、1項商工費、4目の観光費でございます。最初の観光振興対策事業の印刷製本費ですが、こちらにつきましては、観光パンフレットを4つの

言語分にするというふうなことの内容でございまして、具体的には英語、それから中国人向けのもの、それから台湾、香港向けのもの、そして韓国向けのものということで各3,000部、翻訳料を含んでの計上となっております。

その次の煙山ひまわりパーク整備事業でございまして、大きなところとしまして、工事請負費でございます。看板の設置、それから入り口の整備を行うという内容でございまして、それ以外の消耗品、手数料、使用料及び賃借料につきましては、仮設トイレの設置に係る経費でございまして。

続きまして、8款土木費、2項道路橋梁費、こちらでございまして、2目道路維持費、3目道路親切改良費、そして次のページの4目橋梁維持費につきましても、すべて社会福祉総合整備交付金の交付決定に伴っての増減を補正するという内容でございまして。

続きまして、10款教育費、1項教育総務費です。こちらの新規事業で人権教育研究事業ということになりまして、具体的には大学教授、臨床心理士等の講習等の関係の経費というふうになってございまして。次の2項小学校費及び3項の中学校費ですが、この中の管理備品購入費とありますのは、これはどちらもタイムレコーダーです。各校に1台ずつ配備するという内容での計上です。それから、2目の教育振興費ですが、こちら新規でございまして。部活動指導員配置事業ということで予算計上としましては1人35週ということで計上したものでございまして。

続きまして、5項保健体育費、2目体育施設費ですが、こちらが体育館のトレーニング室に係るもので、工事請負費はトレーニング室にエアコンを設置するもの。体育施設備品につきましましては、3つの機器を、今あるものを撤去、廃棄をして、新しいものに更新して設置するという内容です。レッグカール、チェストプレス、ペクトラルフライの3つということになってございまして。

以上で議案第62号 平成30年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細説明を終わります。よろしくお願いたします。

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） これでは議案第62号 平成30年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細説明を終わります。

日程第2 補正予算議案の全体質疑

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 日程第2、補正予算議案の全体質疑を行います。

お諮りいたします。歳入歳出を一括して質疑を行いたいと思っておりますが、これにご異議ござ

いませんか。

(「異議なし」の声あり)

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) ご異議がないようでありますので、一括して質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、事項別明細書のページ数をお知らせ願います。また、質疑のルールであります。回数制限を設けない一問一答方式としますが、簡単な質疑の場合は、何点かまとめてもよいことといたします。

それでは、質疑を行います。質疑ございませんか。

川村農夫委員。

○(川村農夫委員) 全体的な質疑に入ります前に、会計検査院を受検されての何か項目についてちょっと詳しく教えていただきたいと思えます。

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) 藤原企画財政課長。

○企画財政課長(藤原道明君) 私のところでは、一番最近に行われました地方創生関係事業、それからそれ以外にもいろいろ検査項目があったのですが、そちらの会計検査の状況についてお知らせしたいと思えます。

矢巾町としては、平成27年度事業、28年度に繰り越したものの、いわゆるパシフィックコンサルタントに委託したものの、それが具体的に対象になりまして検査院の検査を受検いたしました。内容について審査いただきましたけれども、どうやら今回の検査は、全国で同じテーマを持って、そのテーマに沿った内容を確認して、全国的な傾向を明らかにした上で内閣府なりに、要するに補助を実施している官庁に対してのいろいろやっていくというふうなテーマだったらしく、皆さん、ほかの地方公共団体も含め同じような内容が聞かれたようでございます。具体的にはKPIの達成度とか、その評価についてとか、それからノウハウの蓄積についてという点を聞かれました。あとは、一連で全ての書類を点検していただきましたが、特に指摘事項はないというふうなことで終わった状況でございます。

以上です。

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) 浅沼住民課長。

○住民課長(浅沼 仁君) それでは私のほうからは、環境のいわゆる災害、23年の災害の後に各公共施設に避難所として太陽光発電をつけた部分について検査をいただきました。該当はた、体育館とやば一く、この2カ所が該当になっておりまして、これについても一連の調査をしていただきましたが、特に指摘事項はなく終わりました。

以上、お知らせいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） 19ページ、商工費の中の観光費、これで看板、トイレの整備ということで対応するような状況のようなのですが、4言語ということで英語、中国語、台湾語、韓国語と、そのような対応を考えているようなのですが、具体的に今台湾から大分岩手県に今度直行便も出るわけですけれども、そういう対応をどの程度考えて今後対応しようとしているのか、ちょっとそこを詳しくわかれば教えてください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原産業振興課長。

○産業振興課長（菅原弘範君） それでは、お答えをいたしたいと思います。

どの程度になるかというのは、実際のところはわからないわけですが、実際矢巾町の観光を見ますと、宿泊といいますよりは、どうしてもやっぱり日帰りのほうが中心になるのかなと思っております。これまで議会の皆さんからのご質問の中でも日本語表記しかありませんでしたので、今回特にも花巻空港とかの台湾直通便とかというのが出ておまして、恐らくアジア系の方々がふえるだろうということで、まずはその部分に対応していければいいかなということで韓国、それから中国語でも簡体字、いわゆる簡略した中国の方々が使っているもの、それから台湾の方々はどちらかというと繁体字、難しい字といいますか、そういったものも対応できればということで、今回つくりましたポケット版の観光パンフレットにその表記をしていきたいということで考えております。

なお、別途観光パンフレットにつきましても現在作成の準備をしているわけですが、そちらにつきましても、いずれそういった同じような対応で通称インバウンドと言いますけれども、外国人向けの対応を今後していきたいなということで考えております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） それこそ看板についても道路標識も以前から話題の基盤整備、駅西、東、これが大体整ったところで整備していくと、そういうふうな話をしていたわけなんですけれども、パンフレットもしかり、そういう道路標識もしかり、あるいは誘うための看板、現地

を案内するための。それから、あと現地で例えば宮沢賢治の看板とかあるわけですがけれども、そういうところも行ったときに、ある程度説明できるような、あれだけでかみやつが3つも4つも要らないですけれども、それと連動しながら、これからの観光というのは、それこそ今4,000万人、そこに国も力を入れて対応しようとしているいろいろな躍起になっているわけですが、そういう外貨稼ぎといったらおかしいですけれども、そういう意味でもかなり組織立って動かないと、来年にはラグビーのワールドカップもあるわけですし、その先にはオリンピックとかあるわけですし、いろいろな形でこれが非常に大きな契機となるタイミングだなと、そういうふうに思いますので、少しトータル的な、そういうような見方をして、どこにどういうふうに誘いながら矢巾の数少ない観光地をPRするかと、そういうことに少し力を入れてほしいなというふうに私は思っているのですけれども、その辺の何かお考え、これからの先の考えがあれば聞かせていただきたいのですけれども。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 高橋町長。

○町長（高橋昌造君） それでは、お答えをさせていただきますが、今観光の推進はもちろんのこと、来年の9月には岩手医科大学の附属病院も来るわけでございますが、このことは各課ごとの対応ではなく、いずれいつも私お話し申し上げておるのですが、産業振興課、道路都市課または教育委員会、そして総務企画財政課も含めて、あとは健康長寿なり福祉・子ども課も含めて、いずれそういった中で今ご指摘のあったことについてしっかり対応してまいりたいということで個別対応ではなく、全体的に見据えた対応をしていきたいと、こう思っておりますので、だから観光パンフレットとか、これも自分のところさえいいばいいということではなく全体的な、あとは特にもこれからはホームページとか何かはもう必ずそういうふうなものが求められるわけでございますので、そういった一連のものも含めて内部で精査をして対応させていただきたいと思っておりますので、よろしくひとつお願いをいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） いわゆる外国人が来ると、一番先にやっぱりトイレということで、今どこに行っても洋式化していると、そういうような形でトイレが非常にいいところは評判いいし、悪いところは評判悪いというふうに、ただ見ばえだけではなく、そういうところまで踏み込んだトイレの対応も考えているということなのですけれども、きちっとした恥ずかしくないような形で、その人たちが母国に帰ったら、いや矢巾のトイレはよかったというふうに言われるぐらいの対応を考えていかないと、せっかく来て悪い印象を与えるような形はとってほしくないなというふうに思います。

それと同時に、いわゆる教育として挨拶程度の何かわからないですけれども、どう連動しているかわからないですけれども、子どもたちと例えばまちなかですれ違ったときに、ニーハオでも何でもいいですけれども、そういうような簡単な言葉だけでもやりとりできるような対応もこれから考えていかないと、矢巾の子どもたちはすばらしいと、こういうようなところもあわせて考えていく必要があるのではないかなというふうに思いますが、その辺のところは何か検討なさっているようなところというのはあれば教えていただきたいのですが。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 和田教育長。

○教育長（和田 修君） お答えいたします。

まず観光客、さまざまな国からいらっしゃると思います。英語圏並びに中国圏、韓国語圏、そういうふうな方々が来ているという実態、それに合わせてそれなりの対応できるような言語ということですが、これはこれからの課題とさせていただきたいと思います。

ただはたで見て、中国の方なのか、韓国の方なのか、日本の方なのかというのがなかなかわからずに、言葉をかけられて初めて、ああ中国のほうなのかとか、そうなると思います。そういったことも含めていろんな形での教育をしていかなければいけないと、そう思います。

以上、お答えとさせていただきます。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

川村よし子委員。

○（川村よし子委員） ただいまの藤原梅昭委員のお話の続きなのですけれども、観光のことについてお伺いいたします。

パンフレットを私も見させていただいて、今までずっといろいろ見ていたのですけれども、今回はイラストレーターに依頼してつくったパンフレットのようなのですけれども、私はいまいち、ちょっと矢巾に来たいなというようなイメージがなかなか向けられなかったのですけれども、前のパンフレットがよかったなという思いがしたのですけれども、そのパンフレットを町外に出る、出張とか、そういうときに、職員の方、それからいろんな委員会の方たちはどのように活用されているのか、そこら辺をお伺いします。

それから、ひまわり畑のことなのですけれども、あそこに行った、土橋出身の方が群馬にいらっしゃる方なのですけれども、その方がたまたま手紙が来まして、ひまわり畑はよかったのですけれども、近くの砂利が気になったというのですけれども、あの砂利をいつ、スマートインターチェンジのためにあそこに置いていると思うのですけれども、いつごろ整備す

る予定なのか、そこの点をお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原産業振興課長。

○産業振興課長（菅原弘範君） それでは、お答えをいたしたいと思います。

パンフレットの関係につきましては、町外にどこかに研修に行く際には、いずれ要望がございませすれば、それはお渡しをするということで考えていきたいと。恐らく例えば要覧とか、そういったものも含めた形の中で町外に出ていくときに本当に必要だということであちのほうにお話しただければ、それはお渡しするということで進めたいと思います。

それから、ひまわり畑のいわゆる砂利は、今お話ししたとおりスマートインターの関係で都南川目道路のところから持ってきて、今残がストックされているのですけれども、一応今年度中にはある程度整備をしたいというお話は聞いていましたので、その後今回の補正にございましたように、ある程度あそこの部分につきましては、駐車場が狭くてほとんどとまれない状況になっていましたので、片づけた後に少し整地をさせていただいて駐車場を確保しながら、そして今回入り口についてもなかなか入りづらいという形になっていますので、ちょっとあそこの木が少し倒木といいますか、斜めになったり、繁茂し過ぎている部分もありますので、そういった部分を整理するというので今回は考えているところでございます

あくまでも砂利につきましては、動いた、いわゆるなくなった後こういった取り組みをしていきたいということで現在考えているところでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

川村よし子委員。

○（川村よし子委員） 矢巾町のパンフレット、部数は足りなくなるかもしれないのですけれども、やはり各種委員会の方たちにもいろんな都度渡して、そして1人、2人、1歩でも2歩でも矢巾町を宣伝して、そしてゼリーとか、いろいろ農産物がありますので、そういうPRとかもしていったほうが良いと思いますので、やはりそういう環境。

それから、やはり砂利のほうは早目に除去して駐車場の整備とかトイレの整備、それからシルバー人材センターでもいい、業者、私は業者のほうが良いと思うのですけれども、草むらを熊が出ないような対策というか、そういうふうにして観光に来た人、楽しみに来た人たちが安全で楽しんで行けるような整備が必要だと思います。その点をお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原産業振興課長。

○産業振興課長（菅原弘範君） お答えをしたいと思います。

いずれパンフにつきましては、そのような形で進めたいと思いますし、あと今お話ししているのは、例えば立派なパンフレットでなくても、秋まつりとか夏まつりとか、そういったものの自分でつくったものでもいいと思いますので、そういったものをいろんな形でつくって、いろんなPRするようなものをいずれ今後つくっていききたいという話を課内ではお話ししておりましたので、そういったいろんなものをぜひ出してPRしていただきたいなということでこれからもつくっていききたいと思います。

それから、その周りの草についても、当然そういった管理というのは必要だと思いますが、ただ少なくともひまわり畑、いわゆるこれからひまわりパークという形で統一したいなと思っているのですが、その周辺は町有地でございますから、そこは管理していかなければならないなと思っておりますが、それ以外の部分につきましては、やっぱりそれぞれの管理者がそれぞれ違いますので、そういった部分につきましては、協力できる場合はお願いしたいということで、それはそちらのほうに、いわゆる県のほうにもお願いしていききたいなと考えております。

以上、お答えとします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

そのほかございますか。

長谷川委員。

○（長谷川和男委員） 8款土木費の2項の道路橋梁費の関係で4目のマイナスというか、減の九百何がしということですが、これ何件の工事の中で減額になっているのか。

それから、これから予算の関係でまだまだ発注される見込みの予算が盛り込まれているわけけれども、今年度は何件ぐらいの橋梁の補修というか、検査をしてやる予定なのか。マイナス、減額になっている部分のどういう関係でこの九百何ぼの減額になったのか、そこをちょっとお知らせください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松道路都市課長。

○道路都市課長（村松 亮君） お答えをいたします。

先ほどもお話ししましたけれども、箇所付で補助金のほうが確定いたしまして、当初橋梁部分につきましては4,800万円の事業費で予算をお願いしていたのですが、国のほうから事業費で3,815万円、国費で2,098万2,000円ということで若干予算がつかなかったということですが、今年度一応2橋の長寿命化を予定していたしましたので、ちょっと予算のほうも変わりましたので、そこを改めて見直して、いずれ橋梁の補修はしていかなければなら

いものでございますので、予算に合わせて整備をしてみたいと思います。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 長谷川委員。

○（長谷川和男委員） この工事された場所はどこの道路になるのか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松道路都市課長。

○道路都市課長（村松 亮君） 場所につきましては、今調査というか、設計いたしておりますので、それを見てこれから発注をしてみたいと思います。

場所は、ことし戸花橋、盛岡に行く赤林の境のところの橋を予定しております。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

川村農夫委員。

○（川村農夫委員） 道路橋梁費の中の医大関連道路整備という項目がありますがけれども、実は中央1号線、サイドラインから歩道縁石までの幅がまちまちなのです。除雪帯のために広くとっているのだから、広いところ、両側田んぼのところは広くとれていて、医大のキャンパスのところは特に狭いのです。30センチぐらいしかないのではないかなど。そこをバイク等で走ると、非常に怖いのです。危険なのです。乗用車で走っている分には気にならないのですけれども、バイクが走るのに車道側に大きく出ないと、バイクが走れないというふうな状況で、それが1カ所ばかりでなく何カ所か広いところ、狭いところと繰り返されているような状況なのです。それ構造的に広げることも、現地を見ると、ちょっと難しいようなことも、簡単にはできないというふうな部分もありますけれども、何か改善策を現地を見て対策を講じてほしいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松道路都市課長。

○道路都市課長（村松 亮君） ただいまのご質問にお答えをいたします。

確かに中央1号線、西前線、いわゆる医大の南側の道路からずっと南の4号線のほうに中央1号線あるわけですがけれども、そこは今議員おっしゃったように1.5メートルのいわゆる堆雪帯をとった道路でございます。それが西前線から北のほうは旧の基準の形で路肩が狭くなってございます。この区間につきましては、今年度改良になりまして、4車線の道路のほかにも今言っている1.5メートルの堆雪帯をとりますので、西前線から安庭線までの間、きちっと

堆雪帯がとられた道路になる予定になってございます。

以上、お答えいたします。

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 現状ではそのままになっているようですね、中央1号線が工事完了するまでは。

村松道路都市課長。

- 道路都市課長（村松 亮君） 現状のところにつきましては、ちょっと私どもきちっと現場を把握してございませんで、その現場を確認いたしまして、何か対策ができることがあればしたいと思います。

以上、お答えいたします。

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村農夫委員。

- （川村農夫委員） できることがあればというのではなく、やる方法を考えてほしいと思うのです。特にキャンパス内は、水路が、側溝が両側に土坡があつてというふうな、用地幅からすれば、何か細工すれば広げることができるのかなと思っていましたので、ぜひそこを研究して、その危険を除去してもらいたいと思いますが、もう一度お願いします。

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 高橋町長。

- 町長（高橋昌造君） お答えをさせていただきます。

いずれ現地確認、そして精査の上、また特にもバイクということになれば、医大生もあそこを通っておるわけでございますので、そういったことも踏まえて確認、精査の上しっかり対応してまいりますので、よろしく願いをいたします。

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 齊藤委員。

- （齊藤正範委員） 部活指導員なのですけれども、県内で全県で58人リストアップされているというお話で、詳しい規定は6月中に示されるというような答弁をお聞きしているわけなのですけれども、当町としては部活指導員の活用は部活担当教員の仕事の軽減という方向性で採用するのか。それとも、競技強化という面を考えた要員要請をしているのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

また、配置する場合には、部活指導員だけの配置の運動部という部分が出てくるのかどうかお聞きしたいと思います。

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 和田教育長。

- 教育長（和田 修君） お答えいたします。

まず33市町村には、全てに入るとのことでの私たちのほうでこういう予算措置をしてお

ります。中学校ということに限定されますので、中学校2つのところで希望をとっていると。その中身については、いわゆる専門外の部活担当者がおります。そういうふうなところの軽減と、それから強化という2つの面がございます。あとは、そういう方を雇えるかどうかということが一番です。一応候補はありますけれども、それが決まった段階でしかこちらのほうも動けないというのが実情でございます。ですから、いろんな方向での対応を考えているという状況でございます。

以上、お答えとさせていただきます。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 教育長、もう一つ限られたいわゆる部の指導になるのかと。

○教育長（和田 修君） お答えします。

これはもう限られたというか、その一つの部に特化してということになります。それがまずこれから今後の方向性になっていくと思います。これがある程度成功すれば複数の部ということで人数がふえていくという状況になるのではないかと、そう思います。

以上、お答えとさせていただきます。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 齊藤委員。

○（齊藤正範委員） 町の問題ではないとは思いますが、指導員になられた方の報酬がちょっと考えてみれば、なかなか安いような気がするのですが、そのモチベーションの持ち方等はどのようになされるのか考えているのか。まだ具体的な規定とか決まっていないというから、多分答えにくいかもしれないのですが、今考えている分ありましたらお知らせしてもらいたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 和田教育長。

○教育長（和田 修君） お答えさせていただきます。

例えば今非常勤でその学校に勤めている方を、本当は非常勤であると部活指導できないのです。ですから、そういう方に部活指導もお願いをする。ですから、プラスアルファ報酬をします、与えますという方法が一つございます。それから、リタイアされて年金をもらっている方をお願いをして、昔とったきねづかということでお願いをするというパターン、なかなか仕事を持っている方が3時半に来てくださいとか、土曜、日曜日の部活の遠征のときにお願いしますとは、なかなかこれは頼みづらいのです。ですから、ある程度頼める方というのは限られてきている状況でございます。

以上、お答えとさせていただきます。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 小川委員。

○（小川文子委員） 先ほどのひまわり畑のところのトイレの課題ですけれども、トイレはこういう規模のものになるのか。そして、管理というものはどういうふうなことを考えているのか。それからまた、トイレにちょっと休憩のようなあずまやのような部分はあるのかどうかについてお伺いをいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原産業振興課長。

○産業振興課長（菅原弘範君） それでは、お答えをいたしたいと思います。

実際トイレにつきましては、今年度の予算ではあくまでも仮設トイレということで考えております。あとは、先ほど説明したとおり、まずはその周辺の整備をしていきたいということで駐車場整備と、それから入り口の確保、いわゆる少し木を倒れている部分を整理したり、あるいは枝を払ったり、場合によっては、入り口の部分はちょっと木を切って、その入り口を確保していくというような形を今年度していきたいと思います。来年以降にトイレについては、できれば考えていきたいと思っておりますが、内容については、まだ具体的に今お話ししたとおりにあずまやをつくるとか、休憩室をつくるとか、そういった形のものはまだ現在検討中ということで、どのような形にするかあれですけれども、少なくとも洋式化にはしていきたいとは思っておりますが、どのようになるかはこれから検討していきたいということで答弁とさせていただきたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 小川委員。

○（小川文子委員） それでは、その1,500万円の大体の内訳を教えてくださいたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原産業振興課長。

○産業振興課長（菅原弘範君） それでは、これの内訳をお知らせします。一応今考えているのは、誘導の看板です。これは、いわゆる町道、それからこれまで議会の中でもお話ありましたとおり、スマートインター周辺にできれば畑、パークのほうに行くような誘導看板、や矢印をつけたようなやつとか、名称とか、そういった看板を設置していきたいということで、それが大体400万円ほどでございます。あと残りにつきましては、先ほど言いました木の伐採とか整地とか、そういった部分ということで考えております。ただ具体的にまだ設計をしておりませんので、どこまでできるかというのは、ちょっと設計した後ということになりますが、考え方は、まずその周りの周辺整備をしてからということで考えていきたいと思っております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

そのほかにございますか。

川村よし子委員。

○（川村よし子委員） ふるさと納税についてお伺いします。

歳入では8億円、そして支出では5億円が見込まれていて、そのプラス委託料がありますけれども、この委託はどちらにされるのか。何社というか、そういうのもわかれば教えていただきたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） お答えいたします。

この委託料ですが、今現在もいわゆるポータルサイトと呼ばれていますけれども、受け付けの窓口になるサイトの運営関係がありますので、そういったものを想定した委託料になっています。これまで4つありましたが、もう一つふやそうかという考え方もあるのですけれども、いずれも基本的には大体15%というのがめどになっておりまして、一式お願いする場合に、そのぐらいのものになります。少しでもそこをお願いしないで自前でやれる分をふやすと、そのパーセンテージは下がるのですが、ではその減らした分誰がやるのかと、誰かはやらなければならないので、それをそういったパーセンテージでお願いしたりするということは、いろんな方法も出てきていますし、地元の地域商社でも対応が可能な部分も出てきていまして、そういったものを徐々に、どうしてもポータルサイトそのものの運営費までほかには持っていくというのは難しいと思いますけれども、それ以外の部分、物を郵送したりするとかという、そういった部分とかはいろいろ地元対応もできるのかなと思っておりますので、段階的に進めていこうと思っております。

以上です。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村よし子委員。

○（川村よし子委員） 今までのことをお聞きしますが、ふるさと納税の委託は、町内、県外、どのような比率で委託されていたのか。そして、今回の予算ではどういうふうな見込みなのかお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） ふるさと納税に係る委託というふうなお話ということであれば、ポータルサイトの委託がほとんどですので、まず100%に近いぐらいが県外、そういったことになります。私先ほどお話ししましたように、今後それを少し何とかしていきたいなど

思っています。というのは、やはりふるさと納税なのですが、なるべく多くの人の目に触れていただかないことには、ご寄附もお願いできません。今我々が委託しているのは楽天だったり、さとふるというところだったり、それから最近始めましたのはANAとかも始めました。そういった有名どころにまずやらないことには、その先なかなか難しいので、まずは有名どころにやっております。

今後の長期的な話になりますけれども、仮に地元なりというふうな話、地元というのは岩手県内レベルだと思いますけれども、地元というふうなところに持つてくるためには、そのポータルサイトそのものをつくったり、運営したりするというふうな、それから商品の取り扱いか、受発注とかということも全部やっていかなければならなくて、そういうものをトータルでノウハウとして持っているところというのは、今現在正直、ほとんどない状況なのです。なので、やはりそちらのほうに頼まなければならないというふうな状況でございますが、もっともっと安定的に寄附金が集まるような状況になってくれば、それをある意味当てにして地元の業者を育てていくようなやり方もできるかとは思っていますので、ちょっと時間は要するかと思っています。

以上です。

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村よし子委員。
- （川村よし子委員） ふるさと納税で返礼品を送るときに、他の町村というか、アンケートとか、無料のはがきとか、そういうところも備えているところがあるようですけれども、矢巾町はどのようになっているのでしょうか。もし、はがきで楽天さんから情報を得たのでふるさと納税するとか、そういう情報なのか。それから、矢巾には矢巾会がありますけれども、あと県人会とか、そういうところから情報を得たとか、そういうふうなアンケートみたいなのが入っていれば、統計的にわかると思うのですけれども、そういうのは何か情報があるでしょうか教えてください。
- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。
- 企画財政課長（藤原道明君） アンケートのはがき等については、現在はまだ入れておりません。あとそういった何をきっかけに矢巾のふるさと納税をしていただけたのかということの情報は、そのポータルサイトのほうで基本的には把握されております。現実の話をしていしますと、ほぼほぼ9割方以上は、ふるさと納税お肉とか、ふるさと納税ビールとかという形で検索をして、そこからどこか何かここいっぱい出ているとか、すごいお得な感じがあるなというところを見て、それが例えば矢巾町だったとすると、そこからここってちょっとど

ういうところなのだろうと、そこから矢巾町のほうを見に来て、ああこういうのもあるのだというふうな流れの中で選んでいただいているというのがまずほぼほぼ9割方の実態です。残りの部分は、矢巾町ご指名で最初からいらっしゃる方もいるのですけれども、そういった実態でございます。

以上です。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） 道路整備の話をちょっとしておきたいのですが、冬の間が多分車がぶつかって倒れたのだと思うのですけれども、例えば新田行ったところの歩道のところの柵、あと赤林の安全ガードというのか、そういうのが倒れてそのままになっているのです。いつ直してくれるのかと思ってずっと見ているのですけれども、こっちは多分県だと思うのですけれども、赤林のところは町ではないかな。そういうところが何か所かあるので、ちょっと矢巾町民としてはみっともないのです、いつまでもそういう状況にあるというのは。よそからどんどん人が来たときに、何だ矢巾町、車ぶつかったところも直せないでいるのかというような印象を受けるのも、やっぱり余りよくないから、ちょっと確認して、県であれば県で早く直せと、そういうふうな働きかけをしてほしいのです。誰か把握して対応している状況があれば、教えてください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松道路都市課長。

○道路都市課長（村松 亮君） お答えをいたします。

まずそのこの県道の部分については、確かに県道というところでこちらのほうからも呼びかけをしたいと思います。

それから、ちょっと私今委員さんおっしゃったところ確認していないのですけれども、いづれ今現在不動、煙山、徳田と3地区に分かれて道路パトロール、主には穴ぼことかを修理しているのですけれども、そのほかに除雪に伴いましてフェンスとかガードレールとか、曲がっているところ確かにございますので、そこも今修理しているところでございますので、現場のほう確認して修理をするようにしたいと思います。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原委員。

○（藤原梅昭委員） そこは県にまだ話をしていなかったのかな。結構前からそのままなのです。だから県のほうでも恐らく把握していると思うのです。事故の検証のためにそのまま残

しているのかどうかわかりませんが、ちょっと早目にお願いします。

以上です。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 高橋町長。

○町長（高橋昌造君） お答えをさせていただきます。

実は、きょうご質問が出たのであれなのですが、きのう道路都市課の課長も呼んでそういう話をしたばかりだったので、県の河川だから、県道だから矢巾町は関係ないのだということではなく、町民の皆さんから見れば、それは町であろうが、県であろうが、国であろうが、ちゃんと話を伝えてやらなければだめなのだとことのできのうちちょっと担当課長にはつばをかけたばかりだったので、これはもうすぐやらせますので、これはもう藤原梅昭委員と私はびたっと一致するところがございますので、きのうたまたまそういった指示をしたばかりのところがございますので、ご理解をいただきたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ということで対応は今後速やかにやるということですので、そのほかございますか。

小川委員。

○（小川文子委員） 看板で最後一言ちょっと、青森とかに行きますと、町の入り口と出口にようこそ何々町へというのがあるのです。矢巾町は、矢巾町といって音楽のマークありますけれども、何かもうちょっとアピールするというか、「ようこそ矢巾町へ」というような歓迎の言葉が載ったような看板があるといいかと思うのです。青森だと南部駒のまちとか、さくらんぼのまちとかと、それぞれに入るたびに看板がついていまして、岩手県に入った途端に看板がなくなるもので、青森はいろいろ工夫しているのだなと思いますけれども、特にも町の入り口と出口に何か看板をつけることも今後は考えていっていただきたいなど、観光にもなると思いますので、その点をお考えをお聞かせください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原産業振興課長。

○産業振興課長（菅原弘範君） それでは、お答えをしたいと思います。

先ほど町長も答弁しているとおり、観光にかかわらずいろんな形のものというのがご承知のとおりなかなか設置されていないという部分がございますので、それにつきましては、どういう形になるかあれですけれども、うちのほうとしてもそういったものを参考にさせていただいて、今後一体的に取り組むということの中でどのような形になるかあれですけれども、そういったものも参考にさせていただいて考えていきたいと思っております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。ありますか、まだ。いいですか。
（「なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） それでは、これをもって付託を受けました議案第62号
平成30年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の全体質疑を終わります。

日程第3 補正予算議案の審査報告書について

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 日程第3、補正予算議案の審査報告書を議題といた
します。

付託を受けました議案第62号 平成30年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）に対する審
査報告書の取りまとめであります。

お諮りいたします。この後、休憩中にこの場において、補正予算議案の可否を含めて附帯
意見等の取りまとめを行いたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議がないようでありますので、この後、この場
において附帯意見等の取りまとめを行うことといたします。

ここで暫時休憩といたします。

高橋町長ほか参与の方々には退席されて結構でございます。

午前11時00分 休憩

午前11時17分 再開

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 再開をいたします。

それでは、お諮りをいたします。

附帯意見等はありませんでしたので、ただいまお配りをした付託された議案第62号を可決
すべきものとした審査報告書を成案といたしまして、議長に提出することに決定したいと思
いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議がないようでありますので、この報告書を成
案といたしまして議長に提出することに決定いたしました。

予算決算常任委員会に付託されました議案第62号 平成30年度矢巾町一般会計補正予算
（第1号）の審査及び審査報告書の作成の一切を終了いたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 以上をもちまして予算決算常任委員会を閉会をいたします。

大変ご苦労さまでございました。

午前 11 時 18 分 閉会